

【地区活動報告】

クラブ会長・幹事合同会議

地区は、7月18日(日)、午後1時から、和歌山市のホテル グランヴィアで「クラブ会長・幹事合同会議」を開きました。

冒頭、豊岡ガバナーは「コロナ禍ではありませんが、新しい年度が始まり最初の会議となります。クラブの会長、幹事の皆さんにおかれましては、引き続き、大変な時期ですが、協力して困難を乗り越えてください。ロータリーにつきましては、今年度の地区スローガンは、“広げようロータリーの光を”です。ロータリアンは職業を通じ、社会奉仕を通じ、青少年の育成を通じて社会に光を当て、その光の輪を広げ、志を同じくする仲間を増やしていくことが重要です。また、今年度は少なくとも1回、実践的かつ行動志向のロータリー奉仕デーのイベントの開催をお願いします。このほか、減少傾向にある会員増強について、特に力を入れてください」とあいさつしました。



この後、My Rotaryの登録と活用について 寺下 IT・ガバナー月信委員長、ロータリー財団寄付について 中野 ロータリー財団委員長、米山記念奨学会の寄付について、木村 米山寄付増進小委員長から、それぞれ説明がありました。このほか、休憩をはさんで、岡本 研修リーダーから「ロータリー未来形成(SRF)について」の現況報告があり、最後に藤井 直前ガバナーから「皆さんの今後の活躍を期待します」と総評がありました。



クラブ会員増強委員長会議

2021-2022年度のクラブ会員増強委員長会議を7月25日(日)、午後1時から、和歌山市のホテル グランヴィアで開催しました。地区の66クラブ中、参加クラブ50クラブの参加で、新型コロナウイルスの広がりの中、感染予防の為、手消毒、3人掛けテーブルを一人使用・ソーシャルディスタンスと万全の体制をもって行いました。

初めに、岡本 浩 副ガバナー挨拶、現状報告があり、続いて、「会員増強について」 国際ロータリー第1地区ロータリーコーディネーター補佐の田中 久夫 氏から基調講演がありました。



田中 久夫 氏は高崎RCに所属され、2014-15年にクラブの会長に就かれた当時、会員数を64人から115人に増しました。会員増強するにあたっての考え方について説明されました。また、2017-2018年に地区ガバナーにも就かれ、入会3年目までの方に、1入会の動機、2入会前に抱いていたRCのイメージ、3入会後の感じたRCの印象、4今のRCで満足していること、5不満の思っていること、6今のRCはどうすれば良くなるかなどのアンケートを取り、新会員の標準的な考え方を分析し、それに見合った勧誘方法を考えられました。さらに、多くのクラブの抱える共通の問題点も分析され、1シニア会員自らが自覚すべきことを正しく認識していないこと、2新会員に対してのフォロー不足、3その年の会長・幹事のやる気がない、4若手や女性を入会させられないなどでありました。その辺りを踏まえ、毎月若手メンバー5~6人で「夜間・会員増強会議」を開き、候補書を選択し、すぐに電話攻勢をかける。脈がありそうであれば、翌日に訪問する。お父さん世代の家族に入会を勧める。クラブの全会員に「入会申込書」「自クラブの簡単なプロフィール」「ロータリーを説明できる簡単な印刷物」これらを3種の神器としRCの楽しさ、有益性をアピールしようとされました。勧誘された方からの質問としては、1RCの目的は？2RCの最も大切にしている主義・志操は？3RCに入って何かいいことがある？4他の奉仕団体との違いは？等を想定し、答えられるような知識を全会員が持つことの重要性を説きました。

この後、藤井 直前ガバナーから「女性会員増強の為に」、中野 パストガバナーから「紙芝居・船長ハグルマ君」、山下 会員増強委員長、中 同委員から「新企画・メイクアップ推進手帳の活用について」について説明がありました。



今回のクラブ会員増強委員長会議は、当日の豊岡ガバナー体調不良による欠席の中、急遽岡本副ガバナーによる会議挨拶から始まりました。会議の進行には何も問題なく進行されて頂き岡本パストガバナーありがとうございました。また、基調講演 「会員増強について」 国際ロータリー第1地区ロータリーコーディネーター補佐の田中 久夫 様からは所属クラブ会長時代に1年間で新規会員増強51人と言う実績をお持ちで、実績と行動力、考え方、実地方法等大変為になるお話を頂きました。さらに、藤井秀香パストガバナーよりは地区の現状と会員数の推移と女性会員数の推移、増強へのお考えをお話頂き、パストガバナーの中野 均様からは、「紙芝居・船長ハグルマ君」のDVDを上映いただきました。また、中委員からは、新企画としまして、メイクアップ推進手帳の活用について説明があり、地区会員の活性の一つとなればと説明がありました。

最後に紙面をお借りして、今回の研修会に当たり準備、お手伝い頂いた、代表幹事、地区ガバナー補佐、地区幹事等役員の方々、事務局の皆様にご心より感謝申し上げます。

会員増強、維持・女性活躍、推進委員長 山下 茂男

米山記念奨学生 卓話研修

米山学友小委員長 新本 憲一

米山記念奨学委員会は、委員様協力のもと7月25日・31日・8月2日・7日と4班に分かれて少人数にての卓話研修を行っています。9月には予行演習の卓話発表会も予定しています。

例年では全奨学生18名が集まり、各自の卓話を持ちよりお互いの発表を刺激に推敲を重ねるのですが、コロナ禍により委員の指導と学友の協力による修正を重ねています。

奨学生にとっても自身の卓話を作成することにより故郷を調べ、自身の過去と将来を考えるよい機会となっています。また、ロータリアンの前での発表することによりプレゼン能力向上にも役立っているようです。



10月の米山月間を待たず、9月より卓話派遣のご依頼を受け付けますので、米山事業への理解促進・寄付増進、学生の経験のため多数のご依頼をいただきたくお願い申し上げます。